

みなさん お世話になっております 『 富山すもう愛好会 』です。  
アマチュア相撲の普及や 『 相撲をとおして絆の輪を広げる活動 』をしております。

HP『 富山県相撲連盟 』 その他 』で各種情報を掲載中 見て下さい！

VOL・29 (2024.11) 110部発行 + HP愛読者  
事務局 黒部市沓掛766-2 岩井中 栄

【 第51回西日本実業団相撲選手権大会 6月30日 大阪府 大浜公園相撲場 】  
近畿、北陸以西の団体・個人の王座を決める大会に43チーム206選手が参加。  
団体戦では石川県ソデック（三輪隼人、土井敢太、池田竣）が初優勝。県内からはアイシン軽金属が出場。個人戦軽量級では アイシン軽金属有磯東の『 林陸（旧名寺沢）四段 』が全て下投げで見事決まり初優勝（昨年は準優勝）。

【 第27回全日本小学生優勝 北信越ブロック大会 9月29日 石川県立武道館 】  
12月1日東京国技館で開催される小学生男子最高峰の大会への北信越（富山・石川・福井・新潟・長野）予選会で3部門上位各4名が代表として出場権を得る。

老月悠成（老田小学5年）が3位入賞し全国大会に出場！  
また高森心也（高岡向陵小4年）、水島礼勇（黒部桜井小6年）  
老月隆人（富山老田小6年）が惜しくもあと一步及ばず。



団体入賞 富山県  
（心也・悠成・隆人）

【 全日本女子（選手権・中学・小学）相撲大会 10月13日京都・山城総合体育館】  
国内女子相撲最高峰である全日本女子相撲大会が開催され県内から精鋭19名が参加し小学、中学生、高校・大学・社会人と熱戦が広がられた。  
4年生以下35kg未満で大坪愛叶（氷見朝日丘小）、中学60kg未満で久末芽依（氷見十三中学2年）、一般60kg未満で堀田みず希（高岡商業1年）が見事3位入賞。 また4年の山下真奈（砺波出町小）、5年の小川蒼央（富山堀川小）があと一步のベスト8。  
そのほかの選手もガンバ！



【 第38回富山県相撲選手権大会 10月14日射水市グリーンパークだいもん相撲場】  
県内の小学生～社会人まで団体・個人による最大の大会が開催。  
団体戦は小学生2名・社会人3名の5名チーム編成によりリーグ戦。 富山市Aチーム（老月悠成・老月隆人・保田義陽・中村淳一郎・老月賢佑）が12度目の優勝。  
個人戦では 117名がエントリーし熱戦を繰り広げた。 特筆すべきは 一般男子で重量級で上田将平（滑川）、中量級で中山昌（高岡）、軽量級で舟田雄二が念願の個人初優勝。 一般女子では八嶋那乃羽（氷見）がスピード感あふれる取り口で優勝  
県女子第二期時代の山田めぐ、潤苗、中瀬姉妹、堀田、谷田、八嶋、久末さんに期待

【 第102回全国学生相撲選手権大会 11月2～3日 東京国技館 】  
大学最高峰の大会が日本一を目指し開催。 県内から 近畿大学から主将の浦山秀誠は優勝した選手に負けましたけど個人ベスト8。 団体戦で浦山秀誠（4年・富山商業OB）、八嶋凱登（4年・高岡向陵高校OB）が活躍し3位（ 昨年は団体優勝 ）。  
そのほかの県内OBが出場し これからも大学選手に活躍を期待しております。

【 大相撲 11月場所(九州場所) 私感 】

☆先場所は 関脇大の里が抜群の相撲内容で13勝で優勝(2回目)。大銀杏を結えぬちよん鬚で近い将来『大横綱』は間違いないだろう。特に3連続全敗の大関豊昇龍には圧巻の両手突きから一機に押し出したことに成長を感じられる。但し若隆景にもろ差しを許し寄り切られ、千秋楽では関脇阿炎に立会い引落しでばったり。100%を求めることは出来ないがこれまでも懐に入れそのまま寄り切り負けがあり、腰高など今後の課題。持ち前の 怒濤ごとく前へ出て 土俵際を上手に裁けば万全。また先場所から元大関霧島が安定した取り口で12勝、若元春11勝、若隆景12勝、正代10勝と共に復活。しかし 期待の大関琴桜8勝、豊昇龍8勝、王鵬9勝が振るわず残念！大関貴景勝が怪我が回復せず苦渋の引退(長い間活躍 ごくろうさまでした)

☆今場所の優勝戦線は、本命:大の里！ 対抗:霧島、琴桜、豊昇龍 穴 大栄翔、王鵬？ 見所は隆元春、若隆景、熱海富士、尊富士、猿飛、宇良の取り口が 土俵を沸かす。

☆富山地方巡業が 富山・砺波・高岡・魚津と過去最高の開催数で愛好者を沸かせました。朝乃山関欠場は 来年3月場所復帰をめざしているが焦らず まず怪我を直して欲しい。また富豊、旭水野の活躍に期待したい。

【 特集 】 富山県出身力士の1年間の成績

皆さん けがをしないよう 関取をめざし頑張ってください

黄色枠: 勝越

赤文字: 1年間の最高位

力士		1月場所	3月場所	5月場所	7月場所	9月場所	11月場所
朝乃山 石橋 広暉	高砂部屋 富山市	前頭 7 9勝3敗3休	前頭 1 9勝	小結 欠場	前頭12 欠場	十両 3 欠場	幕下 1 欠場
	富山商業・近大	H6.3.1 30歳 187cm 170kg 近畿大学 高砂親方(元関脇 朝赤龍)					
富豊 とみゆたか 前田 悠翔	時津風部屋 高岡市	三段 48 2勝	三段 71 4勝	三段 52 3勝	三段 65 4勝	三段 46 4勝	三段 32
	金沢学院高	H12.7.8 24歳 180cm 143kg 時津風親方(元前頭筆頭 土佐豊)					
旭水野 水野 翔	大島部屋 朝日町	三段 41 5勝	三段 14 3勝	三段 26 1勝	三段 58 5勝	三段 26 2勝	三段 49
	富山商業高	H16.3.12 20歳 169cm 138kg 大島親方(元関脇 旭天鵬)					
千代烈士 川口 大地	九重部屋 南砺市	三段 78 5勝	三段 47 3勝	三段 59 2勝	三段 82 4勝	三段 63 3勝	三段 78
	高岡向陵高	H15.4.3 21歳 172cm、119kg 九重親方(元大関千代大海)					
坂林 坂林 欣紀	尾上部屋 高岡市	三段 57 2勝	三段 75 4勝	三段 55 4勝	三段 37 2勝	三段64 3勝	三段 80
	高岡向陵高	H11.11.28 24歳 175cm 131kg 尾上親方(元小結 濱ノ嶋)					
常川 常川 凉介	荒汐部屋 南砺市	三段 37 4勝	三段 24 3勝	三段 38 2勝	三段 63 5勝	三段 31 0勝	三段 82
		H6.10.17 30歳 181cm 124kg 荒汐部屋(前頭2 蒼国来)					
飛驒野 飛驒野幹人	荒汐部屋 富山市	三段 77 3勝	三段 87 2勝	序二 25 5勝	三段 80 4勝	三段 61 2勝	三段 87
		H2.9.14 36歳 177cm、133kg 荒汐部屋(前頭2 蒼国来)					
霧乃華 中嶋駿太郎	荒汐部屋 高岡市	序二 52 3勝	序二 69 3勝	序二 79 4勝	序二 45 3勝	序二 65 2勝	序二 82
		H17.1.8 19歳 179cm 91kg 荒汐親方(元前頭2 蒼国来)					

## 【 ちょっといい話⑤ 】

### ☆ 立行司 第38代木村庄之助さんの引退

本年9月 秋場所を最後に(公財)日本相撲協会定年65歳を迎え立行司の第38代木村庄之助さんが引退。島根県出身 1975(昭和49年)5月に若干15歳で高田川部屋に入門以後 約50年間に渡り行司を務める。記者会見では『 毎日が必死。達成感もたまにあるが反省の繰り返しが行司の人生 』と目頭を熱くしながら語っていたのが印象でした。また『 厳しい社会。それ以上の言葉は無いがその分 温かさがあった。師匠や女将さん若いお相撲さんに支えられてここまでやってこられました 』と感謝を述べられました。



華やかな力士を支える『 呼び出し 行司 各部屋の若頭 床山 さんたち 』は大変な苦勞をされておられます。しかし 相撲が好きだからこの世界に入り 安月給・多忙な毎日・先輩後輩の厳しいなかに対し 関係者に ごくろうさまと言いたい。『 私たちの いずれの社会や人生 』も同じように 感謝 感謝 です。

### ☆ 10月8日秋地方巡業 魚津場所を観戦して

本年、富山県において地方巡業が富山・砺波・高岡・魚津と過去最高の開催があり愛好者を楽しませている。朝乃山関欠場は 寂しいがまず怪我を直してから挑戦して欲しい。

さて、秋巡業魚津場所に知人からタマリ席6枚をプレゼントしていただき相撲好きな友人6名と魚津市アリゾドームで観戦した。主催は富山テレビで約2100人(内 魚津市内の小学生350名を招待・・・素晴らしい)を沸かせた。余談ですが富山テレビさんには、アイシンちびっこ相撲県大会で約20年に渡り毎年入賞メダル30個を支援していただき感謝。

序二段から幕内までの力士103人が集結、最初に朝稽古、相撲甚句、相撲の技や禁止技をおもしろく紹介する初切(しょつきり)、相撲甚句、横綱照ノ富士の土俵入り(但し朝稽古には参加せず周りで四股を踏む程度)、最後は力士達による取組 ⇨ 触れ太鼓にて終了。

この地方巡業で 高岡市出身の行司『 木村勝之助(本名 松本海斗23歳)、昨年3月号本機関紙で紹介 』が進行アナウンスや行司と大活躍！ 現在 朝日町出身の旭水野(三段目・富山商業OB)と同じく大島部屋。40年後には立行司になって下さい！

その中で北信越出身関取の遠藤、御嶽海、輝3名のトークショーがあり会場から客席から質問があり回答に会場を沸かせた。最後に私(岩井中)が質問させていただきました。

① 私は富山県相撲連盟事務局長 70歳。3関取は北信越相撲関係者として小学4年生の頃から中学・高校・大学と見てきました。輝関は全国中学横綱、遠藤関・御嶽海関は共に大学や全日本で優勝している実力者。これからも活躍して下さい(会場大拍手)

② 力士達は 本場所が6×15日間=90日間 + 地方巡業 45~50箇所 = 約140日間や各部屋での練習など大変な日々を過ごしておられます。そこで質問ですが怪我の対応や心がけを アマチュア選手の為に教えて下さい。

【 輝関 】『 練習をしながら 直しております 』

感想 ⇨ 休場は番付が落ちる。プロの世界は厳しい！ 一番真面目な回答。

【 御嶽海関 】『 なるべく練習をしない、一生懸命しない 』・・・会場爆笑

感想 ⇨ 他の質問者でも面白く回答。楽しい方でした。

真意は無理をせず ゆっくり治療すると言っているのかと思いました。

【 遠藤関 】 たった一言 『 お金です 』・・・会場爆笑

感想 ⇨ なんてことをいうのかと思いました。しかし同席の幸林秀治(永年主審を務めた)曰く、練習しながらの治療費、怪我をしないための諸費用 専属の医者やマッサージさんへの費用ではと解釈 ... 納得！